

令和5年度 第1回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和5年4月21日（金曜日）	時間	15：30～17：00
会場	三鷹市教育センター3F 大研修室 (オンライン併用)	傍聴人数	0人
出席者	<p><会場参加>助友委員、吉田委員、國澤委員、苔口委員、屋敷委員、鈴木委員、高柳委員、岸川委員</p> <p><オンライン参加>寺田委員、川瀬委員</p>		
欠席者	小林委員、相原委員、安中委員、細川委員		
行政	大朝スポーツと文化部長、齊藤スポーツと文化調整担当部長、二浦スポーツ推進課長、福田スポーツ推進課主査		
内容	<p>1 会長あいさつ 新たな審議会委員の紹介 委嘱 小林陽子 委員（解嘱 五味川直季 委員）</p> <p>2 事務局報告（人事異動） 事務局職員の人事異動の報告 スポーツと文化調整担当部長 高松真也から齊藤真へ スポーツ推進課長 平山寛から二浦孝彦へ</p> <p>3 開会（事務局）</p> <p>(1) 委員出席状況について 委員の出席状況は、委員定数14人のうち10人（会場8人、オンライン2人）の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。</p> <p>(2) 傍聴希望について 市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。本日は、現時点で傍聴の希望はないが、希望があった場合、条例に基づき入場いただく。</p> <p>(3) 会議録の作成と公開について 三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 三鷹市体育協会への補助金の交付について</p> <p>ア 令和4年度三鷹市体育協会補助金対象団体調書について</p> <p>(イ) 三鷹市体育協会からの申請に基づき交付するものである。スポーツ基本法第35条において、地方公共団体が社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付する場合には、あらかじめ市長がスポーツ推進審議会</p>		

内 容	<p>等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならないとされている。この規定に基づき、三鷹市体育協会への補助金について、三鷹市スポーツ審議会の意見をお聞きする。本来、自由で自主的な活動を行う社会教育関係団体に対して行政が補助金を支出することにより、不当な統制的支配や事業への干渉が加えられることがないよう確認するという趣旨によるものである。</p> <p>(イ) 補助金について 昨年度 32 団体 14,801,000 円 今年度 32 団体 14,978,000 円 (昨年度比 177 千円増)</p> <p>(ウ) 三鷹市体育協会に対する補助金交付決定額について 令和4年度 13,786,586 円 (実績)</p> <p>(エ) 補助金執行実績について 表のとおり</p> <p>(オ) 補助金執行計画について ・事業費補助 AGFフィールド使用料 150,000 円が追加となった。これは、市民体育祭スポーツ大会の陸上競技でAGFフィールドを使用する費用を新たに計上したものである。 ・事務費補助 事務局職員の賃金及び期末手当の支給率改正により、前年に比べ 27,000 円の増となった。</p> <p>助友会長：他の委員からの質問等がないようなので、三鷹市体育協会への補助金交付については、審議会として異議なしとする。</p> <p>5 報告</p> <p>(1) 令和5年度の主な事業について</p> <p>ア 中学校における夜間照明設備LED化工事の実施 イ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等のレガシー事業の実施 ウ 心と体の健康都市づくりの推進 エ 大沢総合グラウンドの計画的な改修工事 オ 大沢野川グラウンドの利用再開に向けた取組 カ 井口グラウンド(仮称)等の整備に向けた設計</p> <p>(2) SUBARU総合スポーツセンターの利用状況等について 令和4年度の利用状況(概数)は以下のとおり。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>メインアリーナ (1,633 m²)</td> <td>69,000 人</td> </tr> <tr> <td>サブアリーナ (903 m²)</td> <td>16,000 人</td> </tr> <tr> <td>武道場 1・2 (1,074 m²)</td> <td>76,000 人</td> </tr> <tr> <td>小体育室 (279 m²)</td> <td>28,000 人</td> </tr> <tr> <td>軽体操室 (278 m²)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>161,000 人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室 (367 m²)</td> <td>70,000 人 など</td> </tr> </table> <p>※ 軽体操室は令和3年6月から、サブアリーナは同年9月から、新型コ</p>	メインアリーナ (1,633 m ²)	69,000 人	サブアリーナ (903 m ²)	16,000 人	武道場 1・2 (1,074 m ²)	76,000 人	小体育室 (279 m ²)	28,000 人	軽体操室 (278 m ²)	0 人	プール	161,000 人	トレーニング室 (367 m ²)	70,000 人 など
メインアリーナ (1,633 m ²)	69,000 人														
サブアリーナ (903 m ²)	16,000 人														
武道場 1・2 (1,074 m ²)	76,000 人														
小体育室 (279 m ²)	28,000 人														
軽体操室 (278 m ²)	0 人														
プール	161,000 人														
トレーニング室 (367 m ²)	70,000 人 など														

<p>内 容</p>	<p style="text-align: center;">コロナウイルスワクチン集団接種会場として使用</p> <p>(3) 大沢野川グラウンドリニューアルオープンセレモニー・イベントについて</p> <p>ア 実施日・場所 令和5年4月29日(土) 大沢野川グラウンド(大沢5丁目21番12号) サッカー・ラグビー場</p> <p>イ セレモニー 午後2時～午後2時30分 挨拶、テープカット等</p> <p>ウ イベント FC東京はじめ、東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアスによる子ども達を対象としたサッカークリニック及びラグビー体験教室 午前10時～午前11時30分(FC東京) 午後2時45分～午後4時00分終了(東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス)</p> <p>(4) 行政報告(事業予定)</p> <p>4月29日(土) 大沢野川グラウンドリニューアルオープンセレモニー・イベント</p> <p>5月13日(土) トライアスロン観戦ツアー</p> <p>5月21日(日) 第203回市民歩こう会</p> <p>吉田委員：野川グラウンドの調節池は非常時に水を貯めるという機能を持っているはずなので、一度調整池として機能すると毎回3～4年使用できなくなっている気がする。今回も長期間使用できなくなるということがあるのか。東京都との事業ではあるが、三鷹市として何か改善する方法はあるのか。</p> <p>大朝部長：これまで6年半ほどグラウンドを閉鎖して工事を行っていた。地球温暖化の影響なのか、ゲリラ豪雨など雨量が多くなってきているので、東京都は地盤を深く掘り下げて貯水量を増やすという工事を長期に渡り行ってきた。もともとその貯水池の底面を三鷹市がグラウンドとして利用していたので、あらためて市民の皆様が利用できるグラウンドを再整備するところで、6年間程度時間を要したところである。いよいよ、今月末にリニューアルオープンを迎えるが、梅雨や台風など雨が多い時期に野川の水位が上がった時には、深く掘り下げたところに水を貯めて、野川下流域に水害が起こらない機能を有しているので、一度水が入ってしまうとどうしても水が引けるまで一定期間グラウンドが使用できないというのは事実としてある。掘り下げる前も、水が引けるまでに時間を要して不便をおかけしたこともあるが、今回は水はけを良くするために排水ポンプなどの設備を東京都が整備している。まだ越水はしていないが、今後しっかりとグラウンド状況等を検証して、必要であれば追加の対応をしていきたい。</p> <p>鈴木委員：健康体力相談事業の利用者に関して、利用者の分布(年齢・男女等)はどのようになっているのか。長らく三鷹市のターゲットとしては、女性の子育て世代となっており、そのあたりの層に運動を広げていくことになっていると思うのだが、健康体力相談事業の利用者層の推移はどのようになっているのか。また、令和5年度の「心と体の健康都市づくりの推進」に具体的な事業がいくつか記載されているが、女性の運動実施率を向上させ</p>
------------	--

内 容	<p>ていくために、女性にターゲットを絞って行う事業があるのかどうか教えて欲しい。</p> <p>二浦課長：まず、健康体力相談事業の利用者数推移の内訳・構成については、後日スポーツと文化財団に確認してお伝えする。次に、女性にターゲットを絞って行う事業については、30代から40代の子育て世代を対象として運動実施率向上に向けた研究を進めていこうという話も出てきているところである。</p> <p>助友会長：30代から40代の女性を対象にして、何かのプロモーションをした方が良いというのは、この審議会でも毎年のように出てきており、個人的にもそろそろ動きたいと考えている。「心と体の健康都市づくりの推進」の中で、子育て世代の女性をターゲットとして、審議会の委員の皆様のそれぞれの立場から「こういうことができそうだ」などアイデアを出し合うのはどうか。また、子育て世代をターゲットにした何かをすでにやっている方がいれば、取り組みを紹介してほしい。</p> <p>苔口委員：スポーツ推進委員の活動として、30代から40代の女性を対象を絞ってやる事業はないが、歩こう会は小学生以上の市民ということで呼びかけているので、小学生が参加するには親も一緒に来てもらうというのが目的でもある。だが、なかなか若い方の参加は少ないのが現状である。</p> <p>なお、スポーツフェスティバルでは、子どもも大人も参加するが、走るコーナーでは付き添っていた大人も喜んで参加していた。</p> <p>寺田委員：今のスポーツフェスティバルについて、実際に私も参加し子供も連れていった。子供にとって楽しみなイベントであると実感したので、もう少し小規模でもよいので、このようなイベントを増やして欲しい。また、子どもだけではなく、大人もしっかりと運動ができるような構成にしてもらえると、大人も参加しやすいと思う。</p> <p>また、SUBARU総合スポーツセンターの利用状況について、武道場の利用者が増えているが、どのような要因で増加したのか。何か仕掛けがあったのであれば、それを共有してほしい。それと、昨年度と同じ時期に配付された資料には、利用者アンケートも記載されていて参考になったが、今回は令和4年度三鷹市市民体育施設利用者懇談会「市長への意見及び提案」があるから利用者アンケートの記載がないということか。利用者懇談会の提案に対する対応の結果などについて、どのように公表する予定なのか。</p> <p>二浦課長：武道場利用者の増要因については、財団に確認して報告する。また、昨年度記載した利用者アンケートについては、委員ご指摘のとおり利用者懇談会の「市長への意見及び提案」を配付しているので、これにまとめたということでご理解いただきたい。また、今後の改善・公表については、進捗状況や改善状況等について審議会の中で適宜報告していきたい。</p> <p>寺田委員：今後このアンケートに関しての回答について、審議会で情報共有してもらえるとという認識でよいか。</p> <p>二浦課長：SUBARU総合スポーツセンターに関しては、「市長への意見及び提案」の中でまとめられていると考えているので、これについては改善等につい</p>
-----	---

<p>内 容</p>	<p>て報告していきたい。</p> <p>大朝部長：補足だが、武道場の利用者増の要因は、軽体操室などがワクチン接種などの会場として使用されているため、その利用者が武道場に流れてきている傾向があると推測している。また、市民体育施設等の利用者アンケートの結果をなるべく提供して欲しいとの要望があったので、委員の皆様には後日情報提供したい。</p> <p>利用者懇談会の「市長への意見及び提案」については、大きいものから小さいものまで多岐にわたった意見が記載されている。今後すぐに対応できるものについては適宜対応していくが、一方で条例改正や他の利用者との調整が必要なものもあるので、そのような意見等についてはしっかりと検討していきたいと利用者懇談会の座長に回答しているところである。</p> <p>吉田委員：新しく武道場を使ってる団体として、サンボ連盟がある。令和3年度ぐらいから三鷹市で活動を始めて、令和4年度に体育協会に仮加盟した。30人から40人ぐらいの団体になるが、定期的に使用している団体になるので参考に紹介する。</p> <p>屋敷委員：今の障がい者スポーツの中では、障がいのある方もない方も皆と一緒に楽しめるスポーツの推進ということで、ユニバーサルスポーツの枠組として各地域でも取り組みが行われていると感じている。誰でも皆が参加できるように工夫して取り組んでもらえると、子どもから障害のある方まで、家族皆でスポーツを楽しめる環境に繋がっていくと思う。</p> <p>岸川委員：ボッチャに取り組んでいるが、小学生を対象とすると必ず親も参加しないといけなくなる。子供だけの参加を認めた場合、もしケガをした時などの責任問題なども発生すると考え、事業を中止にした事例があった。</p> <p>國澤委員：ベッセルでは、子供だけでなく親も一緒に体操ができる親子体操という事業を行っている。お母さんだけでなく、お父さんも多く参加してくれているので、親子でできるイベントというのをもっと実施したら良いかと思う。ただ、その場で「楽しかったね」で終わってしまっただけでは意味がないので、それを継続して普段の生活に取り込んでいく流れが重要だと感じている。</p> <p>屋敷委員：別の自治体の取り組みで、家族でチームを組んで対戦を楽しむファミリーボッチャカップというのがある。家族単位で参加することで、家族で練習をしたり、家庭内でボッチャの話題を話したりしているという声も聞いている。</p> <p>川瀬委員：広報の仕方について、もう少し工夫が必要ではないかを感じる。せっかく良いイベントを実施しているのに、市報からしか知ることができなかつたり、自分自身が見落としている事も含めて他の媒体で目に触れる機会が少ないように感じる。例えば、学校に協力を依頼することでPTAの広報を活用するなど、色々なチャンネルを工夫して利用すれば、多くの方の目に触れ、参加者も多く集まるのではないかと感じる。</p> <p>高柳委員：先ほど話題にありました親子での運動についてです。わが子と一緒に体操ができる喜びを考えると、親子体操教室は素晴らしい取り組みであると感じる。その一方で、我が子と離れるリフレッシュさというものがあるので、</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>親と子が同じ時間帯にすぐ近くで別々のことを行ってみても良いのでは。</p> <p>また、SUBARU総合スポーツセンターへの利用者からの意見は非常に大切なものなので、対応できる事はしっかりと対応してもらえれば、施設利用者もさらに増えていくのではないかと。</p> <p>寺田委員：日々の生活や子育てで疲れて運動したくないという層に対しては、非常に楽な気持ちでリラックスして参加できるような空間作りが重要であると感じる。子どもを預かってくれて軽い運動ができるなど、まずはその空間に来てもらうことで身体を動かすきっかけにしてもらうことも、現代の忙しいお父さん・お母さんをターゲットにしていくためには必要だと思う。</p> <p>吉田委員：夕方にSUBARU総合スポーツセンターに行くことがあるが、入口の芝生のところで、たくさん子どもたちが遊んでいることが多い。そのそばで、親は子どもが遊び疲れるのをただ待っている光景を良く見かけるが、その時間が非常にもったいないと感じる。その場所に限らず、親が子どもを待っている間に何か運動ができる環境があれば、スポーツ実施率の向上につながっていくのではないかと。</p> <p>6 審議会のスケジュール</p> <p>令和5年度の審議会のスケジュールは以下のとおり。</p> <p>第1回 令和5年4月21日（金）</p> <p>第2回 令和5年7月21日（金）前後</p> <p>第3回 令和5年10月27日（金）前後</p> <p>第4回 令和6年2月2日（金）前後</p> <p>7 閉会あいさつ（寺田副会長）</p>
------------	---